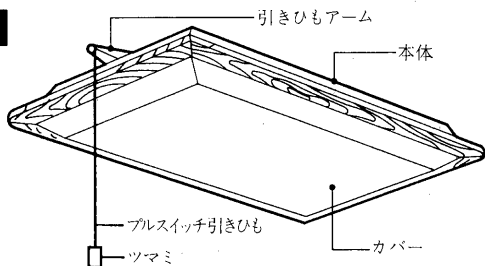


東芝蛍光灯器具ホームライト®取扱説明書

このたびは東芝蛍光灯器具ホームライト®をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
お求めの器具を正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
この取扱説明書は同種類の蛍光灯器具と共通になっておりますので、お求めの器具と姿図がちがっている場合があります。

各部のなまえ

防虫形



インバーター

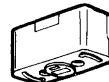
50・60Hz共用

器具を取り付ける前に

1. 器具を取り付ける天井面に第1図のような引掛シーリングが取り付けられているか確認してください。



丸形引掛シーリング



角形引掛シーリング



埋込引掛シーリング

第1図

2. 引掛シーリングが取り付けしていない場合は付属の引掛シーリングの取り付けを電気工事に依頼してください。

〔ご注意〕埋込引掛シーリングをご使用の場合は、ボックスに確実に取り付けられているかお確かめください。

器具の取り付けかた

■ プルススイッチ引きひもをセットします。(第2図)

イ. 本体裏側の引きひもアームを矢印の方向にたおします。
ロ. プルススイッチ引きひもが通常に動作することを確認してください。

■ 本体には簡易取付部と直付K・O(ノックアウト)、(木ねじ用)、12×20K・O(ボルト用)があります。(第3図)

■ 取り付けかた

1. 簡易取付部を使用する場合

(1) 埋込引掛シーリングの場合

- (イ) ランプを本体からはずします。
- (ロ) 埋込引掛シーリングのねじ穴に付属の止めねじ2本を2〜3回ねじ込んでください。(第4図)
- (ハ) 本体の簡易取付部のダルマ穴2カ所に止めねじを合わせて右方向に回転し止めねじに本体を引っ掛けてください。(第6図)
- (ニ) 止めねじを手で締めたと、ドライバーでさらに締め付けて、本体を天井に固定してください。(第7図)
- (ホ) 引掛シーリングキャップを引掛シーリングに接続します。(第7図)
- (ヘ) ランプを本体に取り付けます。

(2) 丸形・角形引掛シーリングの場合

(イ) 天井の引掛シーリングを中心に付属の取付金具Aを付属の木ねじ2本で天井面に取り付けます。(第5図)
以後の取付手順は埋込引掛シーリングの場合と同じです。

2. 木ねじ及びボルトで取り付ける場合

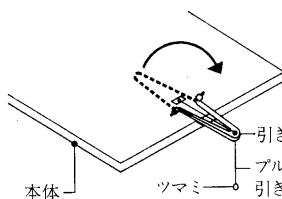
本体の直付K・O(木ねじ用)を抜いて、付属の木ねじ4本で本体を天井に固定してください。(第3図)
また埋込ボルトを使用する場合は12×20K・O(ボルト用)を抜いて、ナットで本体を固定してください。

3. アウトレットボックス、コンクリートボックスに取り付ける場合

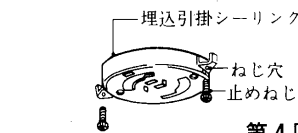
- (イ) 付属の取付金具AとBを併用することにより直接取り付けられます。(第8図)(第9図)
この場合、器具の取り付けを電気工事に依頼してください。
- (ロ) 取付金具Aの凸部に取付金具Bの凹を重ね合わせ、電源線を取付金具Bの電源穴に通し、天井のボックスまたはアンカーボルトに取り付けてください。(第10図)

(ハ) 電源線接続

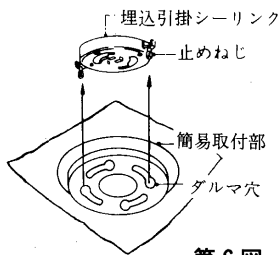
電源線の皮を11mmむいてスイッチのはずし穴に芯線を押込んで、引掛シーリングキャップをはずしてください。
電源線の芯線をスイッチの電源穴に差し込んでください。
電源線は器具内でたるまないように天井に押し込んでください。(第11図)



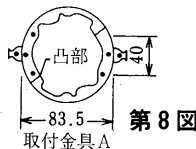
第2図



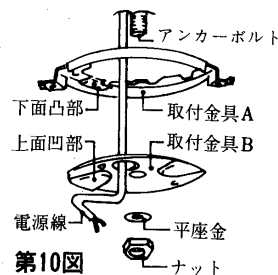
第4図



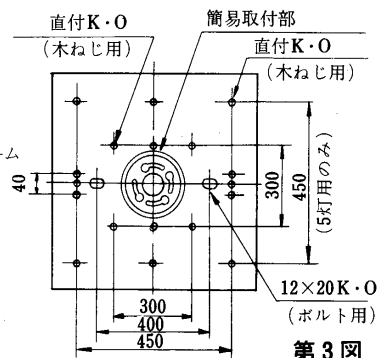
第6図



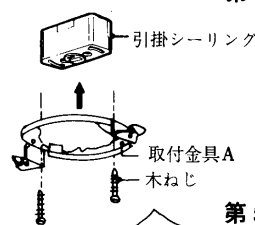
第8図



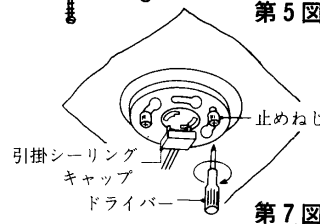
第10図



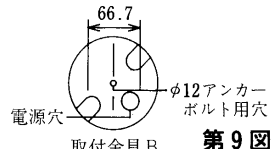
第3図



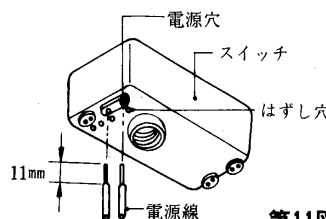
第5図



第7図



第9図



第11図

お客様へ

引掛シーリングの取付工事は必ず電気工事に依頼してください。一般の方の工事は法で禁じられています。

工事店様へ

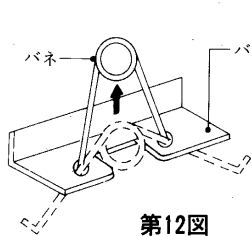
工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様にお渡しください。

TOSHIBA

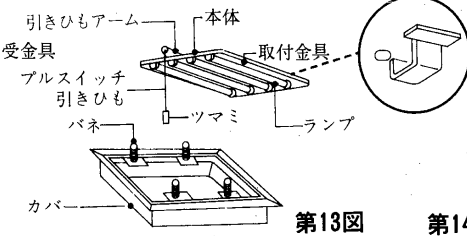
カバーの取り付けかた

1. 4個のバネをバネ受金具より引き出し、片側2個のバネを指で支え本体の取付金具に引っ掛けます。(第12図)(第13図)(第14図)
2. 残り2個のバネを指で支え本体の取付金具に引っ掛けます。(第14図)
3. 両手でカバーを持って本体に確実に押し上げます。(第15図)

ランプの交換のときは「カバーの取り付けかた」と逆の順序で取りはずしを行なってください。



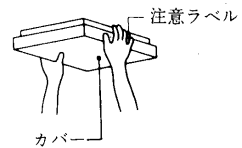
第12図



第13図



第14図

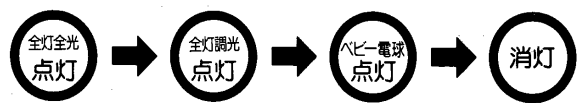


第15図

取り付け ↑ 押し上げる
取りはずし ↓ 引き下げる

器具の正しい使いかた

1. ランプ・ベビー電球がソケットに完全に取り付けられているか確認してください。ゆるんでいますと点灯いたしません。
2. プルスイッチ引きひも(ツマミ)を引きますと次の順序で切り換えられます。
プルスイッチ引きひもはゆっくり引いてください。

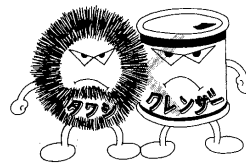


特にご注意を

- ランプを交換するときは、必ず電源を切ってください。
- この照明器具はインバータ点灯方式を採用しています。
 1. 放送電波の弱いお部屋(山間部や鉄筋の建物など)でご使用の場合、ラジオや室内アンテナ使用のテレビなどに雑音が入る場合があります。
 2. ラジオやワイヤレス方式の機器はなるべく照明器具から離してご使用ください。雑音が入る場合があります。
 3. 赤外線など光高周波方式のリモコン機器はごくまれですが作動しにくくなる場合があります。
- 調光器(当社商品名コントロールクスなど)による調光使用はできません。調光器が取り付けられている配線で照明器具をご使用になりますと、器具が損傷する原因となります。
- ランプを交換しても点灯しないときはスイッチを入れ直してください。(保護回路が入っているので点灯しないことがあります。)
- ランプは全灯とりつけて使用してください。1灯でもランプをはずして使用すると正常点灯しないことがあります。
- ランプの寿命がくると保護回路が働き、残るランプが調光点灯のままになります。すみやかにランプを交換してください。
- 通電したまま全部のランプを交換すると、保護回路が働いてランプが点灯しないことがあります。(この場合、約5分後に正常点灯します。)
- この器具は天井の丈夫なところに取り付けてください。
- 薄い天井板(2cm以下)や弱い天井などに取り付けますと、ねじ止めが弱く器具が落下するものになります。
- 器具に紙や布などをかぶせたりしないでください。火災やカバーの変形のもとになります。
- 器具の改造やランプ以外の部品の交換は、絶対におやめください。性能が十分に発揮できないばかりが大変危険です。
- この器具は屋内専用で、5℃~35℃の温度範囲で使用するように設計されています。
- 暖房器具の近くなど温度の高い場所、湯気の直接あたる場所、湿気の多い場所でのご使用は絶対におやめください。火災や感電、故障のもとになります。
- ランプは端部が黒ずんだり暗くなりましたら早めに交換してください。
- ランプ交換の際には、「東芝蛍光ランプ・メロウ5 20ワット形」とご指定ください。
(注) 東芝蛍光ランプ一般形も交換使用可能です。

お手入れのしかた

- 器具のお手入れの際は、必ず電源スイッチを切ってください。
- カバーが汚れたときは、やわらかい布を、石けん水に浸しよくしぼってからふきとってください。
- ガソリンやシンナー、ベンジンなどの薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変質、変色の原因となります。
- 金属部分をクレンザーやたわしでみがかないでください。傷つけたり、腐食の原因となります。



- ランプは取りはずしてから、乾いた布でふいてください。

修理サービス

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源を切って、お買いあげの販売店(工事店)またはお近くの東芝お客様ご相談センターにご相談ください。
なお、ご相談されるときは器具の形名およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。